

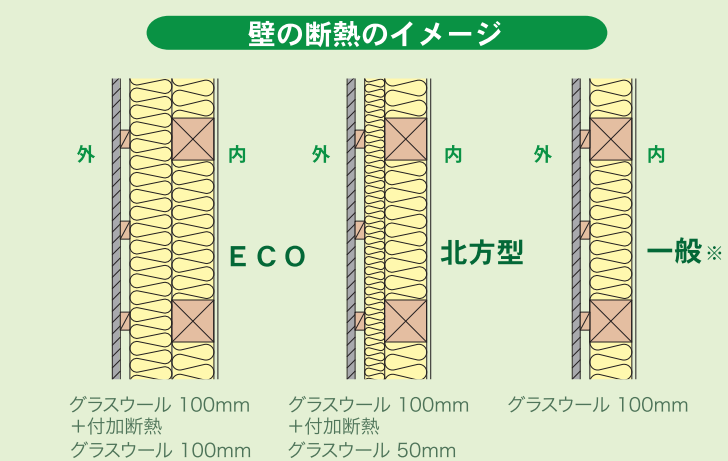
北方型住宅ECO どこがすごいの？

1 断熱気密性能が国内最高水準！

一歩先をいく高性能

北方型住宅ECOは、北方型住宅の必須基準プラス、断熱・気密の基準値を以下のようにさらに高く設定した住宅です。

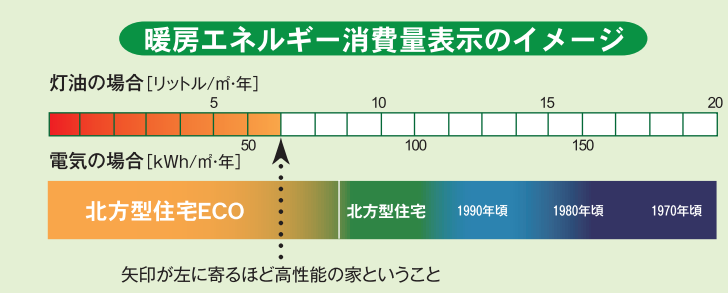
断熱性能 熱損失係数 $Q=1.3W/m^2\cdot K$ 以下
気密性能 相当隙間面積 $C=1.0cm^2/m^2$ 以下



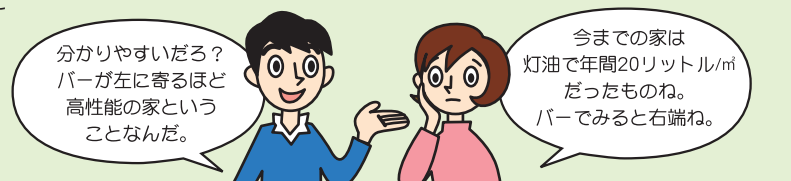
2 エネルギー消費量を表示します

省エネ性能の見える化

建物が1年間にどのくらいの暖房エネルギーを消費するかを、誰でも一目でわかるようにしたものです。



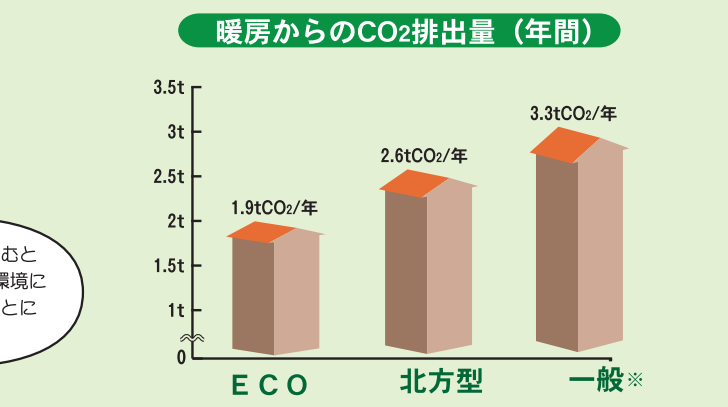
エネルギー消費量の表示は建物の評価、リフォーム、住宅の賃貸や売却等にも深く関わってくる、これからのスタンダードになるでしょう。北方型住宅ECOでは、それをすべての住宅に表示します。



3 CO₂排出量がガンと少なく！

環境にも優しい

北方型住宅ECOは、北方型住宅よりも暖房エネルギーが20%程度少なくすむので、その分CO₂排出量を抑えられるようになりました。



北方型住宅・北方型住宅ECO・長期優良住宅の性能基準の比較

	北方型住宅	北方型住宅 ECO	長期優良住宅 <small>「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」</small>
高い耐久性	劣化対策等級3相当 ・構造部材の耐久性確保		劣化対策等級3 ・数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できること ・床下空間、点検口
高い耐用性	積雪に対する屋根の耐久性向上		75㎡以上（1階40㎡以上） ・良好な居住水準を確保するために必要な規模を有すること
耐震性能			耐震等級2 ・極めて稀に発生する地震の1.25倍の力に対しても倒壊等しない
維持管理の容易さ	維持管理等級3 ・給排水管等の維持管理対策 仕様性能に関する記録作成・保管 建設後30年間の維持保全計画の作成		維持管理等級3 ・維持管理を容易に行うための措置 建設後30年間の維持保全計画の作成
高齢社会への対応	高齢者等への配慮をすること ・住宅内・高齢者配慮等級3相当 ・階段の勾配・等級4相当		
健康で快適な室内空間	全屋暖房		
省エネルギー	省エネルギー対策等級4 ・熱損失係数（Q値）： $1.6W/m^2\cdot K$ 以下 相当隙間面積（C値）： $2.0cm^2/m^2$ 以下	省エネルギー対策等級4超 ・熱損失係数（Q値）： $1.3W/m^2\cdot K$ 以下 相当隙間面積（C値）： $1.0cm^2/m^2$ 以下 気密性能試験の実施（相当隙間面積の確認） 暖房エネルギー消費量の表示	省エネルギー対策等級4 ・熱損失係数（Q値）： $1.6W/m^2\cdot K$ 以下
美しいまちなみの形成	外壁の後退 ・道路境界線から1m以上		良好な景観の形成その他の地域における居住環境の維持及び向上に配慮されたものであること
地域の資源の活用	地域の気候・風土を活かした住宅の計画・設計		
住宅履歴情報の整備	北方型住宅サポートシステム ・設計施工過程、品質の確認。適切な維持管理 ・第三者機関による履歴情報長期保管		建築及び維持保全の状況に関する記録を作成し、保存
認定技術者による設計施工	認定技術者（BIS、BIS-E）による設計・施工		

北方型住宅では、それぞれの住宅に全国唯一の共通IDが発行されます。

これからは「履歴情報」のある住宅があたりまえに！ 全国共通IDの発行が受けられます。「住宅履歴情報の蓄積・活用の指針」は、国土交通省のホームページをご参照下さい。

■ お問合わせは ■

北方型住宅全般に関する事	北海道建設部住宅局建築指導課建築企画G TEL 011-231-4111（内線29-471） http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksd/ 空知、後志、胆振、渡島、上川、宗谷、オホーツク、十勝、釧路の総合振興局又は 石狩、日高、檜山、留萌、根室の振興局の各建設指導課 連絡先は、上記建築指導課のホームページをご参照ください。
北方型住宅の技術に関する事	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 TEL 0166-66-4211 http://www.nrb.hro.or.jp/
登録・保管に関する事	(財)北海道建築指導センター TEL 011-241-1893 http://www.hokkaido-ksc.or.jp/index.html
BIS, BIS-Eの認定に関する事	(社)北海道建築技術協会 TEL 011-251-2794 http://www.phoenix-c.or.jp/~hobeaj/

あったか 長持ち とともに育む北の住まい

北方型住宅 & 北方型住宅ECO



「北の住まい」のスタンダード

建てる時も、建ててからも、ずっと安心

資料はホームページから無料でダウンロードできます

<http://www.kita-sumai.com>

編集：北海道建設部住宅局建築指導課
発行：(財)北海道建築指導センター

北方型住宅 どこが安心なの？

1 性能基準がしっかりしています

長寿命
永く暮らし続けることができ、次世代に引き継がれる資産となる住まい

環境との共生
省エネルギーで、冬の除雪の負担も少なく、北海道らしい四季の暮らしを楽しむ住まい

安心・健康
いつまでも安心して暮らせるよう、高齢化に対応し、健康で快適な室内環境を確保した住まい

地域らしさ
北海道の気候風土を活かし、身近な地域の素材や技術を活かした住まい

2 サポートシステムで不安解消

安心設計
設計内容の基準適合をサポートシステムでチェック。ユーザーは設計者から報告を受けるだけ。

安心施工
完成後に見えなくなる部分も段階ごとに経過報告があるから、施工の不安も解消。

ずっと管理
設計・施工データは第三者機関でしっかり保管。リフォーム時も役立つ資産価値も長持ち。



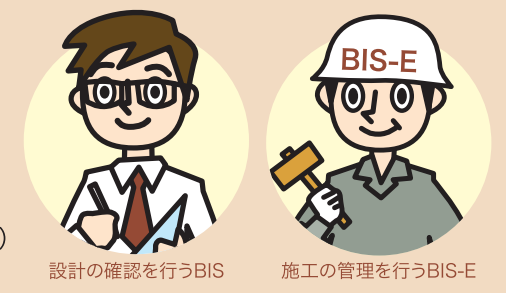
3 認定技術者による設計・施工

北方型住宅ではBIS(ビス)とBIS-E(ビス・イー)という住宅の断熱気密の専門家が設計・施工を行います。

BIS認定制度：住宅の断熱・気密の技術力を判断するための認定資格で、3年ごとに更新します。

BIS：断熱・気密・換気・暖房の専門知識を持ち、正しい設計ができる資格者です。

BIS-E：高い技術の断熱・気密の施工ができる資格者です。
BIS-M：両方の資格を持つ技術者を、BIS-M(ビス・マスター)と呼びます。



北方型住宅サポートシステム

家づくりの依頼から完成、そして将来のリフォームまで。
ずっとサポート、ずっと安心。

1 計画設計 サポートシステムが設計内容を判定するから安心

「本当に北方型住宅の基準どおりに設計されているの？」という心配はご無用。
サポートシステムが基準に適合しているかを自動的に判定していきます。

依頼・相談



誰でも使えるシステム

このシステムはどのハウスメーカーや工務店でも利用できます。まずは「北方型住宅で建てたい」と伝えて下さい。

計画・設計



認定技術者が確認するので安心

BIS（断熱施工技術者）が断熱・気密の設計内容を確認するので安心です。

設計内容の報告



チェック結果を報告

結果は専用シートにまとめられ、建築主に報告されます。さらに建築主はウェブ上でいつでも見ることが出来ます。

<http://www.kita-onlsys.com>

北方型住宅サポートシステムは、ネット会員登録すれば誰でも利用できるんだよ。

どこに頼んだらいいのかわからないときは、北方型住宅建設業者一覧を参考にね♪



2 施工 施工状況を細かくチェックできるから安心

「本当に設計図どおりの工事が行われているの？」という心配もご無用。
5段階のポイントごとに、施工状況が随時報告されます。

着工前に説明



工事内容の事前説明

どのような材料を使いどんな工事をするのか、事前に説明を受け、納得した上で工事ははじまります。

施工



認定技術者が施工するので安心

BIS-Eが施工を管理。精度の高い施工を行います。

施工内容の報告



施工状況を徹底チェック&報告

設計どおりの工事が行われているかは5段階で報告。もちろん建築主が現場でチェックすることもできます。

竣工



住まいのお手入れポイントも報告

専用シートにまとめられたポイントは、設備の交換時期などの目安に便利です。

3 維持管理 住まいの記録が第三者機関に保管されるから安心

将来のリフォームまでを考え、設計・施工の記録を保管します。
サポートシステムは10年先・20年先の安心もサポートしていきます。

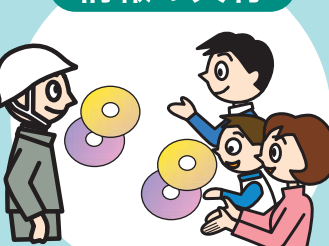
登録・保管



住まいの全データが保管

設計・施工の記録はCDに収められ（財）北海道建築指導センターで登録保管。

情報の共有



データのお渡し

同じ内容の記録CDが、建築主と施工者にそれぞれ渡されます。

保管データの活用

図面をなくしちゃっても大丈夫だったわ。



将来のリフォームに役立つ

図面や使用材料などの施工時データで、適切なリフォームが実現し資産価値も高めます。

「北方型住宅」は建築主と施工者の約束です。
このシステムは、長く快適に暮らせる住まいを安心して建ててもらうためにつくられたんだよ。みんな、家づくりを楽しんでね♪



北方型住宅 & 北方型住宅ECOの基準

必須基準

長寿命

1 高い耐久性

乾燥材等の使用
外壁内の通気措置
小屋裏の換気措置

2 高い耐用性

3 維持管理の容易さ

住宅の仕様等の記録の作成
および保管
給排水管等の維持管理対策

北方型住宅は、「長寿命」「安心・健康」「環境との共生」「地域らしさ」の4つの基本となる性能を大きな柱として10の目標像を定め、それらを実現する北方型住宅基準を設定しています。基準には「必須基準」と「推奨基準」がありますが、ここでは必須基準を簡潔に紹介します。

安心・健康

4 高齢社会への対応

住宅内の高齢者等への対応
部屋の配置
段差
階段
手すり
転落防止手すり
廊下及び出入口の幅員等
特定寝室、トイレ及び浴室の広さ

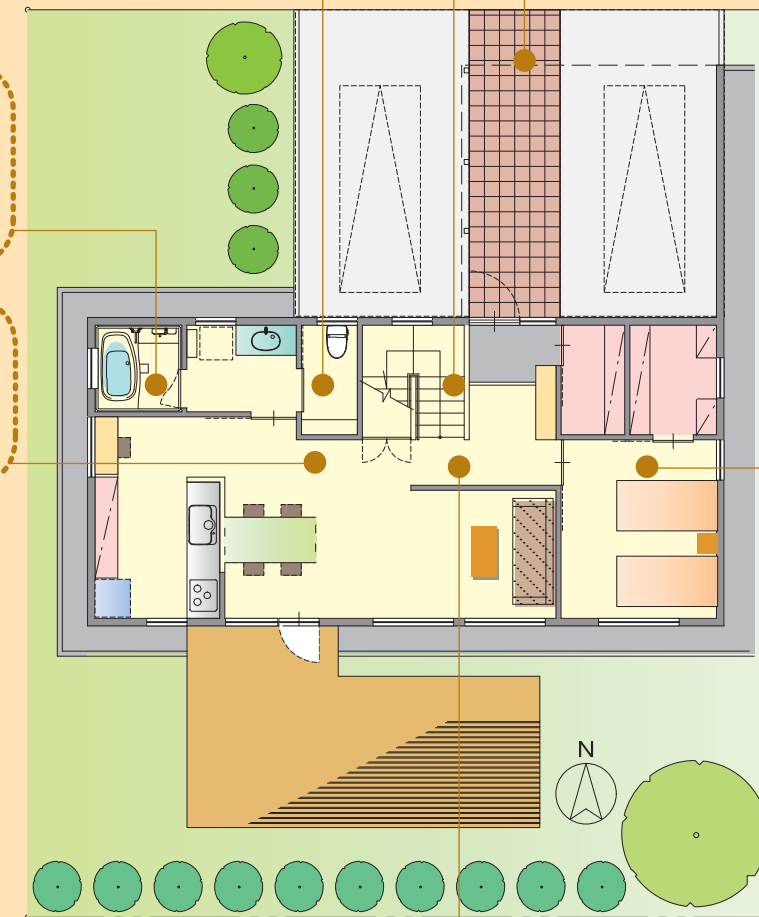
5 健康で快適な室内空間

ホルムアルデヒド対策
換気システム
暖房方式

トイレ
トイレは、高齢者等の利用を想定する寝室と同じ階に配置し、便器は腰掛式とします。また、介助空間を確保します。

階段
高齢者だけではなく子供も安全に利用できる勾配や寸法とします。

外壁の後退
住宅（付属建築物を除く）の外壁は道路境界線から1m以上後退させます。



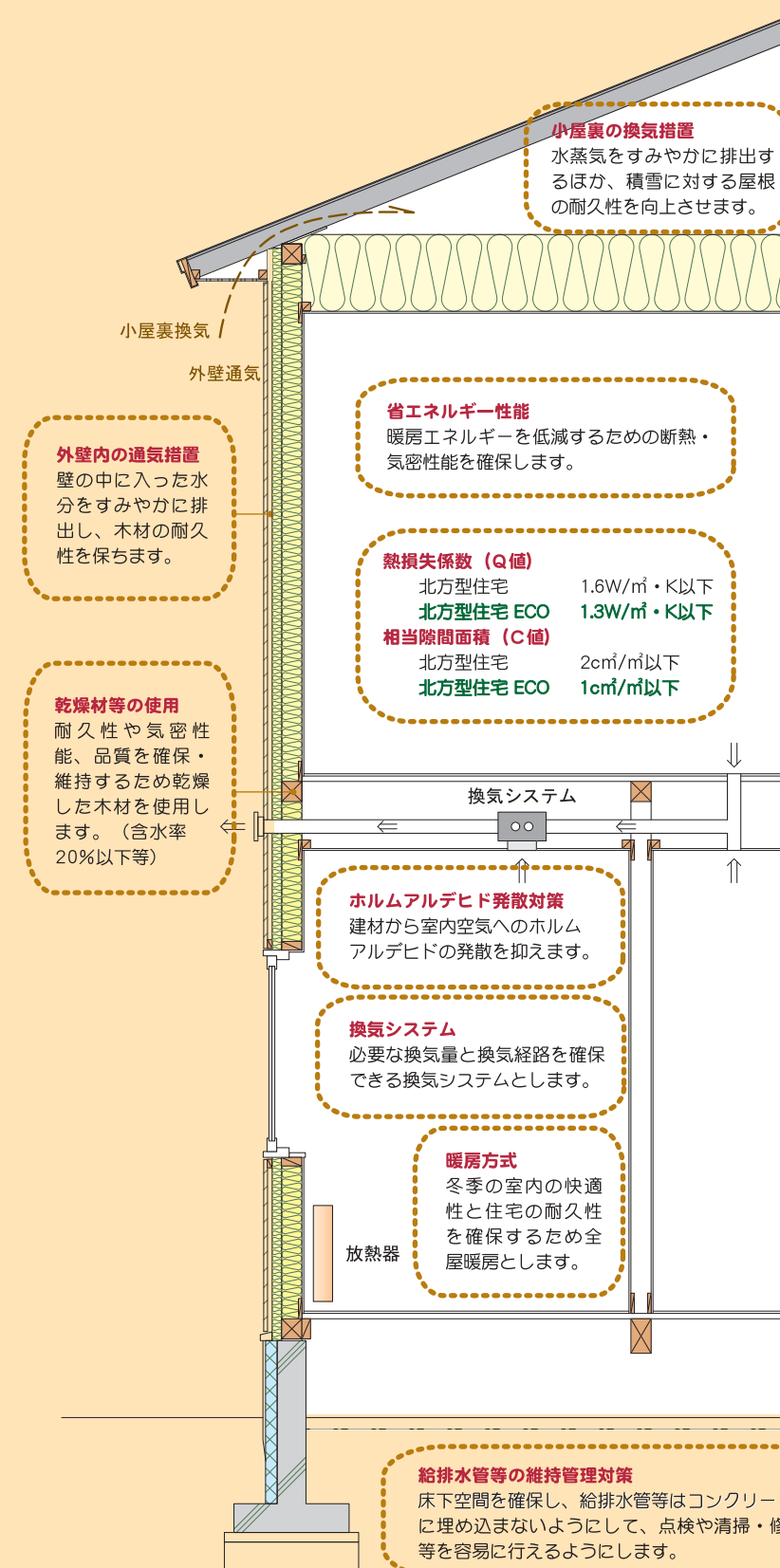
浴室
浴室は、介助に必要な面積や内法寸法を確保します。

床の段差
床の段差は、原則として解消します。

手すりの設置
階段・トイレ・浴室には、手すりを設置します。玄関・脱衣室には、手すりを設置するか設置準備をします。また、廊下・階段・バルコニー等には、転落防止手すりを設置します。

廊下および出入口の幅員等
自走式車いすでも通行に支障がない仕様とします。

高齢者等の利用を想定する寝室
広さは内法寸法で9㎡以上とします。



環境との共生

6 省エネルギー

省エネルギー性能

7 環境負荷の低減

8 敷地内の雪処理

9 美しいまちなみの形成

外壁の後退

北方型住宅ECOの基準は省エネルギー性能が強化されています。

詳しい内容は、北方型住宅技術解説書で確認してね♪



地域らしさ

10 地域の資源の活用

地域の気候・風土を活かした住宅の計画・設計